

# 高浜地区振興会 広報

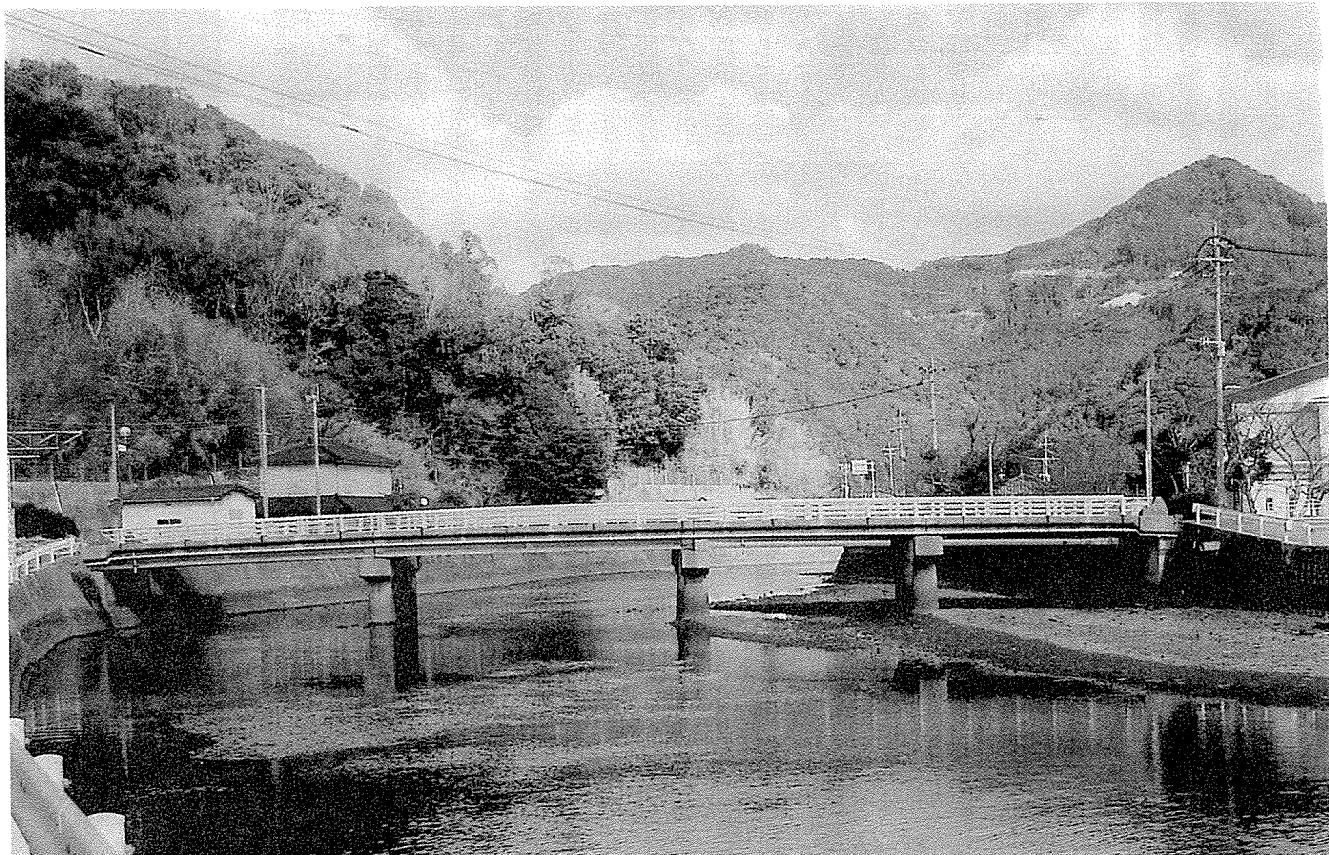
# はとみね 九鳥の峯

2007年(平成19年)3月15日

第3号

|             |             |
|-------------|-------------|
| 世帯数         | 720戸        |
| 人口          | 1,615人      |
| (男)         | 747人        |
| (女)         | 868人        |
| 高齢化率(65才以上) | 673人 41.67% |

(平成19年2月28日現在)



平成19年2月・撮影

諏訪に木造の大橋が村民の強い要望で、やつと明治二十年に掛けられます。その昔、江戸期には厳しい制役があつて簡単に橋は掛けられておりません。当時高浜唯一の橋は、「浜田川橋掛け」文化十二年（一八一五）、「宜珍日記」にみることができます。（現在天草支所横寿橋）川幅の狭い所に丸太を横倒した一本橋あるいは飛び石を伝つて渡つていた時代を想像してみてください。

解釈しますと、諏訪に行くには橋がなく、潮が引いた時期に徒步では行けるが、帰りは潮が満ち、かろうじてふしぬ（膝）まで着物をまくりあげ、渡たる瀬（飛び石）があつた。渡り瀬がどの辺にあつたかわかりませんが、当時の情景が浮びます。

行きには徒步よりゆきて、かへさには  
ふしぬより わたる諏訪のわたり瀬 良古  
この歌は、上田家七代宜珍と交友があつた  
信濃国（長野）の漢学者、三枝良古が文政年  
間に、高浜を訪れ詠んだ一首です。

橋物語

# 部会活動報告

地域づくり部会 「精靈流し」のアンケートの結果  
 健康福祉部会 地域福祉座談会  
 自治活動部会 自主防災訓練  
 公民館活動部会 高浜歴史散策

## 精靈流しについて

### 地域づくり部会

H18 12月11日 精靈舟について

H19 1月29日 区長・行政連絡合同会議

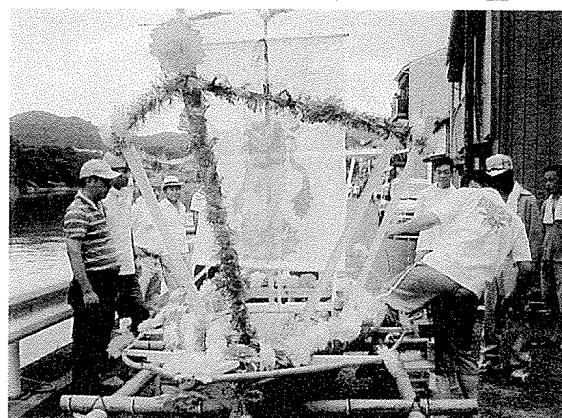
精靈舟について

3月中旬 19年度事業計画について

環境問題や漁業被害が問題視される中、高浜地区の精靈流しも大きな岐路に立たされています。「高浜の精靈流しをどうするか」を考えるためアンケートをおこないましたが、グラフのような結果になりました。

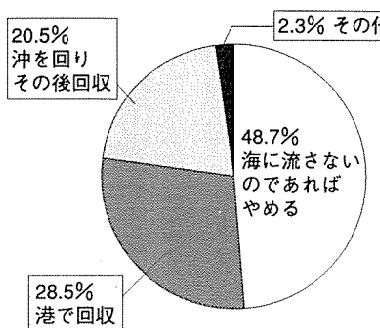
「今後の精靈流しをどうしたらいいか?」については約半数が「海に流さないのであればやめる」残り半数が「港まで持つて行きそこで回収」または「船に乗せて沖を回りその後回収」と何らかの形で残したい意向です。

やめたい理由としては、環境問題の他に、担ぎ手不足や費用の負担が主なもののようにあります。何らかの形で残したい理由としては、伝統行事を大切にしたい、出郷者や観光客が楽しみにしている、やめてしまうとさびれてしまうといった意見でした。他に、イベント的なものと組み合わせて高浜を盛り上げたいという意見もありました。

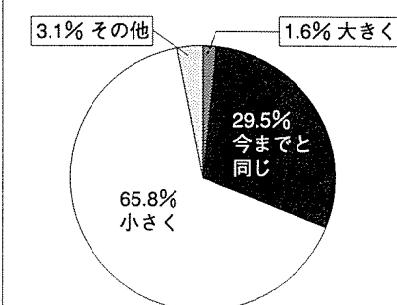


### 精靈流しに関するアンケート結果 \*配布663件、回収356件 (回収率53.7%)

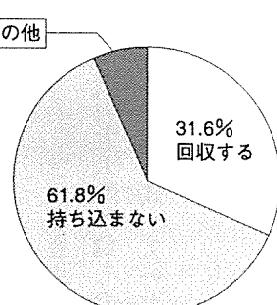
今後の精靈流しはどうしたらいいか?



精靈舟の大きさは?



お供えものは?



## -----自治活動部会-----

H19 2月16日 防災訓練  
井戸端会議 )について

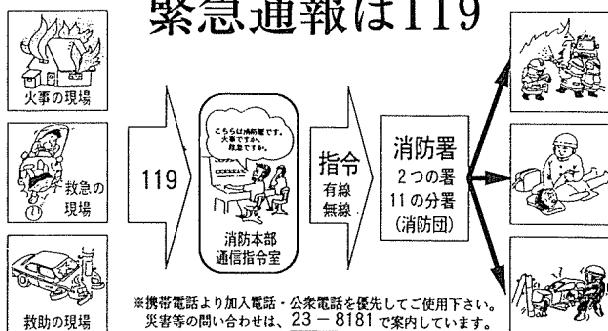
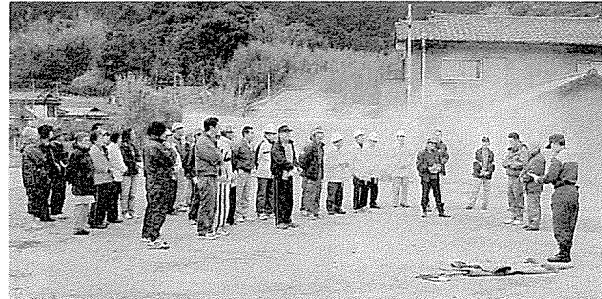
2月25日 自主防災訓練

3月中旬 19年度事業計画について

2月25日、3月から始まる春の火災予防週間を前に、白木地区を中心に4地区の自主防災会並びに各区を対象とした訓練事業を実施しました。

消火栓の取扱要領や、消火器の実演訓練・応急担架の作り方等、約70名の参加をいただきました。油火災の場合、慌て水をかけたらどうなるか実際体験をしていただきました。特に、煙霧ハウスを使った避難体験では、一寸先も見えない中での歩行とあって前の人にはぎりながらの行列でした。今後も一人一人が、火災に限らず、常に防災意識を持って生活していただきたいと思います。

### 緊急通報は119



## -----健康福祉部会-----

H19 1月15日 地域福祉座談会に係る  
(ワークショップ)事前会議

1月18日 地域福祉座談会(ワークショップ)  
3月中旬 19年度事業計画について



年明け一月十八日(木)下田南公民館において、「地域福祉計画および地域福祉活動計画住民座談会(ワークショップ)天草地区」が開催されました。座談会には各地区振興会のメンバー約六十人、コミュニティ主事・社協職員・市民生活課職員などの参加となりました。

座談会(ワークショップ)に先立ち、「ひとりいき計画ネットワーク」の佐伯謙介先生の「地域福祉計画および地域福祉活動策定に向けて」の講演がありました。講演では、地域福祉は「住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり」をめざすためです。現代、地域では「お年寄りへの悪徳商法」「児童被虐」「見取られない」になり、「災害時の避難」「一人暮らしの年寄り」、様々な問題を抱えています。また少子高齢社会でこれから地域福祉はどうあるべきか、福祉の移り変りの説明や他の地域での実際の活動事例の紹介がありました。

座談会(ワークショップ)は各地区ごとにテーブルを囲み説明を受けながらの進行です。①地域でにやっていること②地域の困りごと③やってみたいこと(アイデア)などに対する各自の考えを付箋に書き広用紙に貼ります。

広用紙にいろんな意見が集まります。意見をまとめ、各テーブル(地区)の代表の発表がありました。座談会に参加して、福祉活動は隣りどうしの助け合うことから、そして人を思いやる心から始まることを気づかせてくれました。

## 公民館活動部会

H18 12月20日(水) 19時30分～ 高浜公民館合同会議

- 第17回 グラウンドゴルフ大会反省について
- 文化関係事業「高浜歴史散策会」について
- 「おね火」について
- 「チャリティーコンサート」について

3月中旬予定

● 平成19年度事業計画について

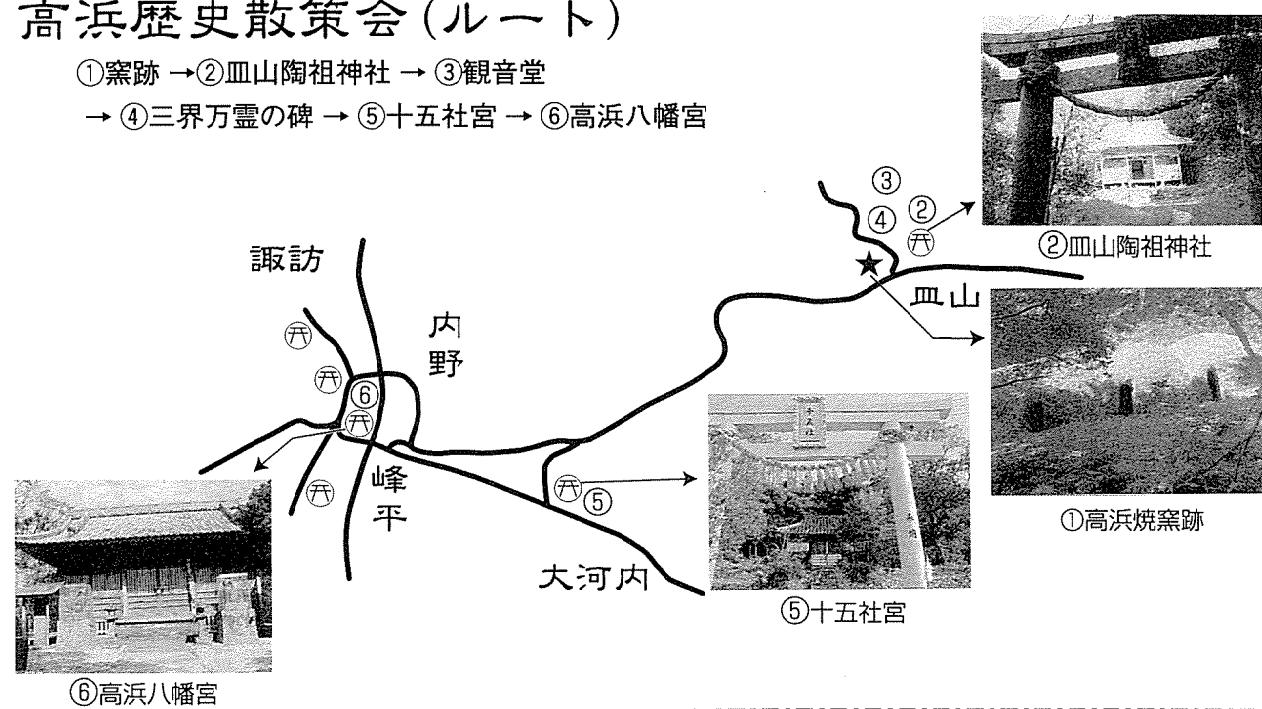
## 高浜の魅力めぐり（歴史散策会）

（公民館・文化振興事業）

十二月二日、高浜歴史散策会が開催され住民約三十名参加し郷土史家松本教夫氏の案内のもと高浜の歴史的名所六カ所を天草支所を九時に車六台に分乗し出発。皿山にて四力所（窯跡—陶祖神社—観音堂—三界万靈の碑）徒步散策し、その後大奄（十五社宮）最後は（高浜八幡宮）で解散の順に行なわれました。なかでも感銘を受けたのが、上田家が皿山で窯を開いたのが宝暦十二年（西暦一七六二年）と聞かされ今から二四五年前のことである。また窯跡においては「横狭間式連房登窯」で県指定文化財であることを知りました。その他高浜の歴史的貴重な案内があり、今まで以上に郷土愛が深まつたのは私だけでしょうか。まだ散策会に参加されてない方も次回に是非の参加をお勧めします。

## 高浜歴史散策会（ルート）

- ①窯跡 → ②皿山陶祖神社 → ③観音堂  
→ ④三界万靈の碑 → ⑤十五社宮 → ⑥高浜八幡宮



“地域のみなさんの  
お気持本当に  
ありがとうございます”

このほど高浜地区振興会に  
温かい善意のご寄付（香典返  
し）をいただきました。  
ご芳志を賜り深く感謝致し  
ます。

寄付金は高浜地区振興会の  
活動に有効に活用させていた  
だきます。

敬称は省略させて  
いただきます。

いたたまます。

松江 良博（義長）  
松本 格（秀次郎）  
上田 倫嗣（ミユキ）  
中向 中向

心よりご冥福を

お祈り致します。

# 成人おめでとう

一月四日天草町の新成人52人を祝う成人式が天草町民センターで行なわれました。晴れ着姿の中から、彼女に成人の抱負を語つていただきました。

## 成人を迎えて

藤本 里菜

二〇〇七年一月四日、晴れて成人を迎えることができました。二十年間はあつという間だったけど、今のがあるのは両親をはじめ、恩師や友人、周囲の方々の支えや指導があつたからです。これから色々なことを経験すると思うけど人との出会いを大切にし、誰に対しても感謝の気持ちをもつて生活していきたいです。



## テレビタ特派員を募集しています！

くまもと県民テレビで夕方放送されている地域情報番組「テレビタミン」のテレビタ特派員を募集しています。

天草町の旬な情報を届けるテレビタ特派員になってみませんか？ 募集要項は次のとおりです。

なお、応募者多数の場合は、選考となりますのでご了承ください。

- 募集人員 1名
- 応募要件
  - ビデオカメラを持っていること
  - 2~3カ月に一度情報提供（出演）できること
  - 天草町全体を紹介できること
- 応募締切 平成19年3月25日

【問い合わせ・申し込み先】  
天草支所総務振興課地域振興係 真田

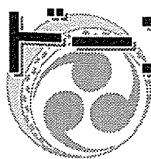
人の魂を揺さぶる太鼓

太鼓は、誰でも打てば響くシンプルな楽器ですが、打つ人、打ち方によって様々な音色を出す奥の深い楽器もあります。この音色は、人が生を受けるまでに聞いた母の聲音に似ているともいわれています。そんな太鼓が持つ魅力に日本の美と情緒を豊かに表現し、「感動」の場面を次々に創り出すところにあります。優れた伝統芸能としての文化性に富んだ和太鼓は、その打つ姿や音色から人間の心の奥底にある魂を大きく揺さぶる力が秘められているのです。

我が太鼓の会と天草西高太鼓

## トントと太鼓をたたけば 大脇文穂

西海荒波太鼓の会

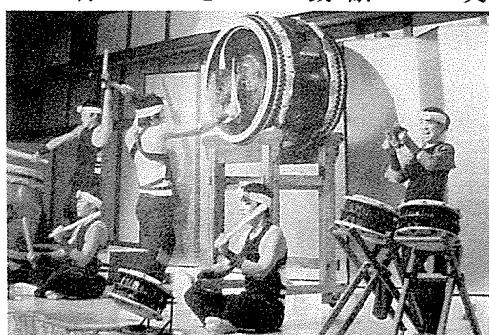


太鼓の会は、平成二年に結成し、仲間づくりと地域貢献を柱に天草西高太鼓の育成と、互いに成長するための太鼓道の精神訓である「心・技・体」の鍛錬に励んでいます。最近では会の方向性を模索した会員増による新体制整備とその再構築を図りました。今後もさらなる活動の展開と地域への貢献を目指して精進してまいります。

太鼓をたたけば気持ちイイ

皆さんも一度、太鼓の稽古場を覗いてみませんか。お待ちしております。（稽古場は、高浜トンネル近く倉庫で）

毎週水曜日の夜と土曜日の昼にやっています。



## —Uターン帰ってきてヨ力ツタバイー

高原 憲生

私は、高校までの学生時代を高浜で過ごし建築関係の専門学校へと進み、十二年間ほど熊本市内の住宅会社の現場管理者として毎日、仕事に追われる忙しい生活を送っていました。お客様と打合わせし、お客様に喜んでいただける住まいづくりをめざして努力の毎日でした。社会生活中で人に対する言葉の使い方や相手の気持ちを考え行動することを学び、今後の自身の考え方や行動のスキルアップに大変いい勉強になつた期間でした。今回、機会がありまして天草の方にUターン転職できました。高浜に帰つてきましたが、学生時代の時の面影が残っている所と新しくなつて利便性が良くなつている所など見るようになり、十二年間という年月の変化を感じました。熊本市内と違い、高浜に帰つて感じたのですが、誰でも私に対して挨拶をしていただき、人として笑顔で接してくれることです。これからは、いろんなことにチャレンジしていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

## —高浜小学校地域学習発表会—

高浜小の魅力たっぷりの学習発表会、2月25日に児童全員が元気に参加して行なわれました。

### 学習発表会で学んだこと

六年 山田 紘里

私は、小学校最後の学習発表を通して学んだことが一つあります。まず始めは、「ありとキヨギロス」の劇を通して働くことの大切さを学んだことです。次に、道具づくりや練習、発表を通してみんなで協力するとの大切さを学んだことです。これらを生かして、中学校でも、いろいろなことにチャレンジしていくみたいです。

### 学習発表会を見守して 保護者 大野 由里



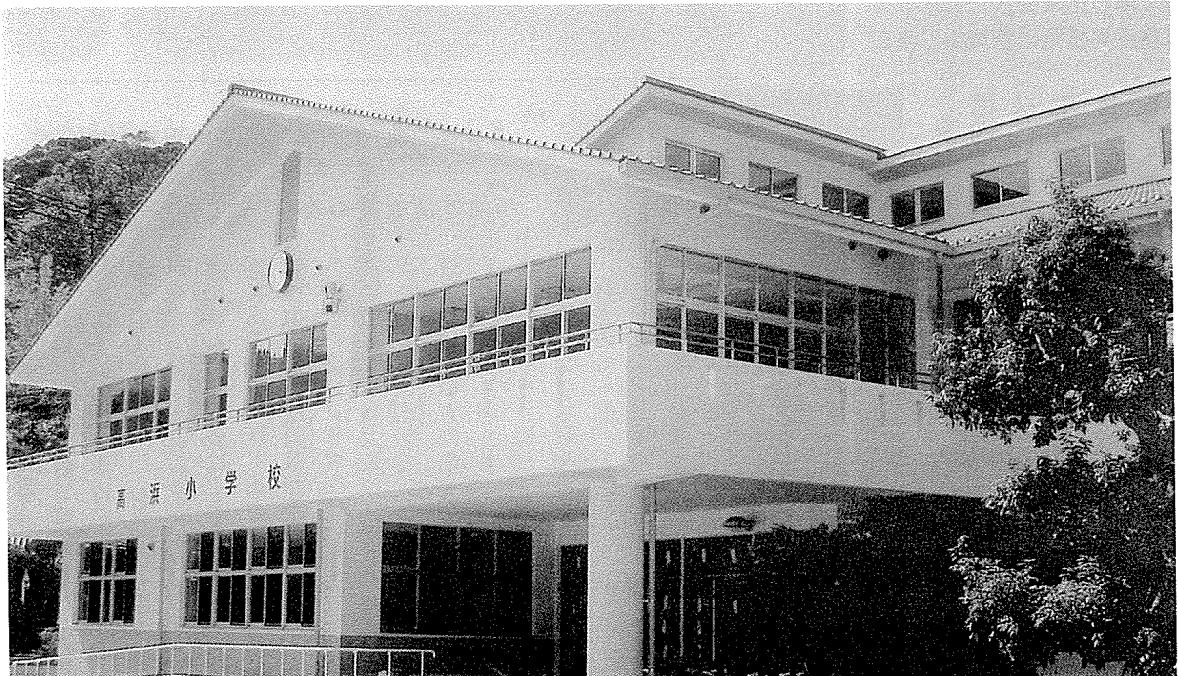
一年間の学習の総まとめとして、毎年恒例の行事である。各学年、特徴を生かし、創意工夫がされており、子供の成長が伺え知る、感動の学校行事の一つである。

今年は仮校舎の為、勤労者体育センターで行なわれた。あの広い体育館で、大きな声で堂々と表現し、普段の様子と変わらず、しかも楽しんで発表していくと感動つた。

たくさんの観客がいる中、「緊張」という言葉は伺えなかつた。子供は、すじら。頼もしい限りだ。

見て いる私の方 が、「ドキドキ」してしまつづけだった。全員合唱の「はじめの一歩」は、高浜小が一つの輪になつたように感じた。この感動をもつとたくさんの方に感じてほしうと思つた。

## 新校舎高浜小学校 三月一十八日落成式を迎える



### ★「広報紙の記事を募集します」

広報紙『鳩の峯』では、地域の皆様に親しんでもらうために、また、より良い紙面づくりのために、記事の投稿・情報の提供、さらには新しいコーナー（企画）の案などを募集します。どのような記事・情報でもかまいませんので、お気軽にご連絡ください。

### ★「草刈機をお譲りください」

現在休眠状態（使用は可能）で今後使用予定のない草刈機、また、複数台お持ちで1台は倉庫等に放置したままの草刈機をお持ちの方で、譲ってもかまわないという方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡ください。

（連絡先：高浜地区振興会）



三月になり暖かかった冬が過ぎて春を飛び越し夏がすぐ来るようと思う毎日です。自然のサイクルが温暖化現象のため、少しづれてきているのでしょうか。天草も色々な災害自然のシッペ返しがなればと思う。

さて、鳩の峯も三回目の発行を迎えます。皆様の協力によりここまでこれたことを感謝

したいと思います。

皆様から信頼される広報にと頑張っていますが、まだまだそれには時間が掛かりそうですが、そこまで到達できないかもせんが、少しでもそなるように努力して行こうと思っています。今後も長い目で応援、いただければと考えます。よろしくお願いします。